

平成 16 年 2 月吉日

アンケート調査のお願い

NPO 法人神戸まちづくり研究所
理事長 室崎益輝(神戸大学教授)

時下、ますますご清祥のことと存じます。

さて、当研究所は、兵庫県県土整備部、同丹波県民局、篠山市政策部と協働して「新たな生活様式実現を柱とする多自然居住*推進事業」調査を進めています。この事業は NPO が提案し、行政と協働して実施する兵庫県のユニークな制度によるものですが、このアンケートの成果は提案の重要な基礎になります。ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご協力くださるようお願いいたします。

なお、回答は無記名でお願いし、結果は統計作成以外の目的には使用しません。

*多自然居住とは、現行の全国総合開発計画『21 世紀の国土のグランドデザイン』のなかで、計画実現の 4 つの戦略の筆頭に挙げられたもので、「中小都市と山間地域等の豊かな自然環境に恵まれた地域を新たな生活様式を可能にする国土のフロンティア」の創造を目指すものです。

< 調査の趣旨 >

定年までの通常の勤務時間は約 10 万時間といわれていますが、定年後の自由時間も平均して約 10 万時間になります。この時間をどこで過ごすのか答えはさまざまと思われるのですが、自然に囲まれて暮らすスローライフが、最近、注目されています。大阪、神戸から至近の位置にありながら豊かな自然が残る丹波は、この「多自然居住」実現に最高の条件を備えています。

今回のアンケートは、丹波にゆかりのある団塊の世代の「田舎暮らし」に対するお考えをうかがい、今後の施策に反映させることを目的に実施するものです。

< 調査結果の活用 >

今年度はこのアンケートだけでなく、古民家など田園資源のリスト作成、田舎暮らし実践者のヒアリング、首都圏など田舎暮らし先進地の調査などを実施します。この成果に基づき、来年度は行政と協働して「多自然居住案内所」の開設、「多自然居住ホームページ」による情報発信、「田舎暮らし人ネットワーク」の支援などの事業(いずれも仮称)に取り組む予定です。

回答は同封の葉書に記入し、2月16日までに投函をお願いします。

多自然居住に関する意向調査アンケート集計（2004年3月4日現在）

273通発送（宛先不明22通を除く）中102通の回収（37.4%）

Q1 多自然居住(田舎暮らし)について、あなたはどのように思われますか。(印はひとつ)

- 24 (23.5%) 1. 田舎暮らし(永住、半永住を含む)の計画がある
- 25 (24.5%) 2. 具体的な計画はないが、一度はやってみたい
- 38 (37.3%) 3. 関心はあるが、積極的に取り組むつもりはない
- 10 (9.8%) 4. あまり関心がない
- 3 (2.9%) 5. まったく考えられない
- 2 (2.0%) 未記入

Q2 都市公団が実施した調査によると、大都市圏に住む熟年世代のうち、「終の住処」として都心を選ぶ割合は、男性の半数、女性の2/3に及んでいます。あなた自身のお考えを聞かせてください。(印はひとつ)

- 3 (2.9%) 1. 終の住処として都心がいいと思う
- 44 (43.1%) 2. 住み慣れた今の場所が一番だと思う
- 33 (32.4%) 3. 自然が豊かで、のんびりできる田舎に移りたい
- 6 (5.9%) 4. まだ将来のことは考えていない
- 15 (14.7%) 5. いろいろ考えているが、まだ決めていない
- 1 (1.0%) 未記入

Q3 高校卒業後、あなたは何年間ほど丹波にお住まいでしたか。(印はひとつ)

- 81 (79.4%) 1. 1年未満
- 17 (16.7%) 2. 1年以上5年未満
- 1 (1.0%) 3. 5年以上10年未満
- 2 (2.0%) 4. 10年以上
- 0 (0.0%) 5. 丹波を離れたことがない
- 1 (1.0%) 未記入

Q4 少年期をあなたが過ごした住宅は、現在、どうなっていますか。(印はひとつ)

- 72 (70.6%) 1. 家族や親戚が住んでいる
- 3 (2.9%) 2. 賃貸している
- 10 (9.8%) 3. 空き家だが、まだ住むことが出来る
- 2 (2.0%) 4. 空き家で、現状では住むことが出来ない
- 1 (1.0%) 5. 建物はないが、土地だけは残っている
- 12 (11.8%) 6. すでに手放した(借家も含む)
- 2 (2.0%) 7. その他・不明

Q5 あなたは、平均して年に何回、丹波を訪ねますか。(印はひとつ)

- 12 (11.8%) 1. 1回未満
- 8 (7.8%) 2. 1回程度
- 43 (42.2%) 3. 2~4回
- 20 (19.6%) 4. 5~10回
- 15 (14.7%) 5. 月に1回以上
- 4 (3.9%) 未記入

Q6 事情が許すなら、丹波に住んでみたいとお考えですか。(印はひとつ)

- 12 (11 . 8 %) 1. 永住したい
- 37 (36 . 3 %) 2. 大都市と丹波の両方で暮らしたい
- 10 (9 . 8 %) 3. 身内や親しい仲間と田舎の住まいを共有したい
- 1 (1 . 0 %) 4. 賃貸でいいから、一時的に丹波で暮らしたい
- 36 (35 . 3 %) 5. 丹波に住む積もりはない
- 6 (5 . 9 %) 6. その他

Q6-1 丹波での暮らしの夢 (当てはまる番号すべてに 印)

(「%」は、Q6で1.から4.を選ばれた60名に対しての割合です。)

- 31 (51 . 7 %) 1. 趣味や読書に専念する暮らし
- 37 (61 . 7 %) 2. 庭づくりや家庭菜園
- 21 (35 . 0 %) 3. 有機栽培など農産物の生産
- 4 (6 . 7 %) 4. 新しく事業を始める
- 11 (18 . 3 %) 5. 自分に向けた仕事を探す
- 16 (26 . 7 %) 6. ボランティア活動への参加
- 3 (5 . 0 %) 7. 子どもや孫に囲まれた暮らし

Q6-2 丹波暮らしで心配な点をお答えください。(当てはまる番号すべてに 印)

- 24 (40 . 0 %) 1. 医療や福祉のこと
- 21 (35 . 0 %) 2. 仕事や収入のこと
- 18 (30 . 0 %) 3. 近所つきあいのこと
- 13 (21 . 7 %) 4. 子どもや孫とのつながりが薄くなること
- 8 (13 . 3 %) 5. 文化的な楽しみが乏しいこと
- 20 (33 . 3 %) 6. バス、タクシーなど公共交通の不便さ

Q6-3 多自然居住推進について地元で期待すること (当てはまる番号すべてに 印)

- 30 (50 . 0 %) 1. 空き家の登録、紹介、家主代行など地域資源の有効利用システムの整備
- 25 (41 . 7 %) 2. 多自然居住案内所開設など田舎暮らし希望者への支援
- 22 (36 . 7 %) 3. 多自然居住 (田舎暮らし) ホームページによる情報発信
- 20 (33 . 3 %) 4. 田舎暮らし人ネットワークなどによる相互支援・交流システムの整備
- 13 (21 . 7 %) 5. 新規開業資金補助や就業支援など生活安定のための制度
- 18 (30 . 0 %) 6. 農地の賃借、購入などの斡旋や農業技術指導

Q7 田舎暮らしや古民家再生は、今、静かなブームになっています。あなたは、下記の刊行物をご覧になったことがありますか。(当てはまる番号すべてに 印)

- 15 (14 . 7 %) 1. 田舎暮らしの本 (月刊)
- 4 (3 . 9 %) 2. ふるさとネットワーク (月刊)
- 2 (2 . 0 %) 3. 夢の丸太小屋に暮らす (隔月刊)
- 1 (1 . 0 %) 4. 自休自足 (季刊)
- 2 (2 . 0 %) 5. チルチンびと (季刊)
- 2 (2 . 0 %) 6. 古民家生活術 (雑誌太陽別冊)
- 8 (7 . 8 %) 7. 少年動物誌 (河合雅雄著)
- 68 (66 . 7 %) 未記入

Q8 昨年、篠山市のホームページは総務大臣賞に輝きました。あなたはインターネットで、篠山市のホームページをご覧になったことがありますか。(印はひとつ)

- 33 (32 . 4%) 1. 見たことがある
35 (34 . 3%) 2. 見たことはないが、今度見る積もり
21 (20 . 6%) 3. 見てみたいが、見る機会がない
10 (9 . 8%) 4. 関心がない
3 (2 . 9%) 未記入

Q9 統計によると、田舎暮らしの実践者は50代後半に決心し、60代前半に実行するケースがもっとも多いことが分かりました。第2の人生の選択について、あなたの感想を聞かせてください。(印はひとつ)

- 11 (10 . 8%) 1. 共感できるが、自分とは生き方が違うと思う
38 (37 . 3%) 2. 自分も第2の人生について考える時期が来たと思う
13 (12 . 7%) 3. 自分の将来の人生設計はもう固まっているので、今さら変更の必要がない
25 (24 . 5%) 4. 未確定の要素が多いので、将来について決めるのはまだ早い
13 (12 . 7%) 5. 自分で決めるより、家族の意見を尊重したい
2 (2 . 0%) 未記入

Q10 あなたの住所の郵便番号(上3桁)をお答えください。

(人数の後のカッコ内は送付した数です。郵便番号の後の丸数字は人数です。)

- 3名(15) 東京(140 、 154 、 204)
5名(8) 神奈川(211 、 226 、 227 、 229 、 244)
3名(8) 千葉(262 、 270 、 277)
1名(2) 茨城(305)
1名(6) 埼玉(357)
1名(2) 群馬(370)
1名(3) 静岡(411)
2名(6) 愛知(458 、 485)
1名(2) 三重(510)
1名(6) 滋賀(520)
29名(72) 大阪(530 、 533 、 559 、 560 、 561 、
564 、 565 、 567 、 569 、 572 、 573 、
582 、 586 、 590 、 593 、 598)
4名(12) 京都(610 、 619 、 621 、 624)
5名(17) 奈良(630 、 631 、 636)
38名(104) 兵庫(650 、 651 、 654 、 655 、 658 、
659 、 661 、 662 、 663 、 664 、 665 、
666 、 669 、 670 、 675 、 679)
1名(2) 鳥取(689)
3名(4) 岡山(700 、 701 、 703)
1名(1) 広島(735)
2名(2) 福岡(811 、 816)
(1) 熊本

<兵庫県内38名の内訳>

神戸市14名、芦屋市3名、尼崎市2名、西宮市3名、伊丹市2名、宝塚市5名、川西市2名
〒669(様々)2名、姫路市1名、〒675(東播)3名、〒679(主に西播)1名

自由意見欄(意見の前のカッコ内の数字は、現住所郵便番号の上3桁)

- (154)ふるさとは遠くにありて想うもの。心の支えは自然の丹波を残してもらうことです。
- (458)故郷、丹波の活性化をきたしします。年寄りだけでなく子どももいるまちづくりが良いと思う。教育環境として優れていると思うが・・・。
- (530)自然がいっぱい残っていると言いますが、植物はともかく、魚や昆虫は殆ど居なくなりました。たまに田舎へ帰っても虚しくなります。
- (533)丹波は寒く交通アクセスが悪いので戻る気はありません。老後は都心暮らしか、アジアリゾートでのんびり暮らしたいと考えています。
- (561)外資系大手 IT 企業での経験と人脈を活かし、丹波地域の IT 推進を地元記事地帯と連携、情報化による住民の暮らし向上に役立つ仕組みを考えていきたい。
- (561)遅くなってすみません。田舎にうつる何よりもの心配は、部落のいろんな行事のおつきあいが、元気でうまくできるかということです。
- (569)熟年になる程、都心で便利な所がいいと思う。
- (569)アンケート結果を回答者あてに報告してもらえるとありがたい。
- (572)テレビなどで時々田舎のゆったりした生活を垣間見ると、結構よさそうな気にもなるが、大学入学以来約 40 年間の都会での生活で、もはや田舎には定住で着まいと感じています。妻も都会生まれの都会育ちで、田舎での生活は考えられないと思う。
- (590)事情で篠山に住む事は出来ませんが、今の篠山は本当の田舎か、半都会的な田舎に思える。
- (610)Q 6 - 3 の質問は都会人を田舎に呼び込むことを前提とした考え方と思われます。この考え方には賛成できません。現在田舎に住んでいる人は快適生活であると思えるようなシステムを作り上げることが大切であり、地元の人々が楽しく暮らしているところにこそ、都会の人魅力を感じるのではないのでしょうか？田舎に都会の一部を持ち込む必要はないと思います。
- (621)定年後は篠山市域内の歴史研究に専念する計画で、近距離の京都府下に居を構え、現在も月に数回は篠山に足をのばし、その助走段階に入っている。
- (650)田舎暮らしに興味を持っているので、今後も情報を希望します。
- (651)農家の長男で否間実家も農地もありますが、引き継ぐ自信がありません。定年後スローライフに憧れる人とともに、有機栽培等ができれば理想です。農地は提供する前提背実行に移すプログラムを探しています。
- (651)篠山市に先祖のお墓があるので、年に何回か墓参りをします。丹波は懐かしい町ですが、住み慣れた今の場所が一番です。篠山市が総務大臣賞に輝いたことは最高にうれしいです。
- (651)小さくてもいいが、新聞五大紙 + 神戸新聞に広告を出して、懸賞品つきのアンケートなど及び兵庫まちづくりプラットホームの宣伝をしてはいかがでしょうか。
- (651)U ターンよりも家族に適した土地への I ターンを望んでいます。
- (661)母親が一人で篠山に住んでおり、定年後は田舎に帰りたいたいと思っている。
- (664)夫婦とも実家が篠山市ですので、あまり関心がありません。
- (665)田舎で暮らす夢はあるが、海の側に決めている。船を持ってその日の魚をとり、山合で野菜をつくる。
- (665)私は定年後帰郷を決めています。家内は都会生まれ育ちで田舎？篠山での生活に抵抗しています。田舎魅力をどう説明すればと悩んでいます。
- (669)平成 15 年 4 月に西宮市から篠山市に転居しております(家内の実家)。記入できる項目のみ記入いたします。
- (675)篠山市福住に生まれて高校卒業まで育ちました。今でも時々帰省します。退職後は再び帰って余生を過ごしたい気持ちでいっぱいですが、家族が都会育ちのため反対しております。永住はできなくても志を同じくする人々との交流はしたいと思っています。また、情報をお願いいたします。
- (689)結婚する相手が違っていれば、篠山に住むことになったと思う。
- (703)立春寒波が続いておりますが皆様お力せをひいておられませんか。日頃は郷土町づくりにご尽力されありがたく存じます。私も故郷(篠山)へ 10 年近く帰っておりません。思いますに「故郷の家並み変われど、山並み青く変わらず」でホッといたします。しかし生活便が良くなり角々まで車が入り田畑作業も良くなりましたが、小川が無いのです。タンポポ、スカンポが咲いていた土手、フナ、ドジョウ、シジミは何処へ行ったのでしょうか。自然を守る、生活の便、水？の 3 点を考えて土木工事をやっていかなければならないのではないのでしょうか。乱筆乱文をお許しく下さい。
- (735)広島県安芸郡府中町八幡 - -
- (811)篠山には家族は誰もいません。少年期、食えない生活でしたので、良い思い出は何もありません。ただ、霧の中の、雪の中の城の石垣が思い出されるだけです。